

## 【 資格認証課程とは 】

資格認証課程とは、ITC で学ぶ全ての技術に対して、その技術を達成させる為に設けられた学習計画のプログラムである。**現在の最新版 AP ノートは青色表紙の日英版**

## 【 理念 】

人は、学ぶ課程の中で『自己の行動に対する評価』と『達成されたことに対する認証』の両方が共に与えられることが、成長への重要な要件となっています。

『自己の行動に対する評価』が与えられることは:進歩があったところは励まされ、弱点があったところには改善への援助が与えられる。全ての会員は資格認証に参加してコース達成の申請を目指すべきです。

## 【 資格認証を受けるメリット 】

- \* ITC の綿密に計画された訓練を受けることにより個人の成長発展が促進される。
- \* 時間的制限が設けられていない為、生涯教育となる。
- \* 参加者が自発的に任意に参加する形態であるため、ITC の技術を、参加者各自の希望の速度で習得する。

## 【 申請書について】

1. **クラブレベル** 申請なしで与えられた役割の課題にサインが受けられます。

### 2. **カウンスルレベル**

カウンスル会合の『**2週間前**』迄にサインの申請書をカウンスルNo.4資格認証委員長に提出します。  
今期は岡山あくらクラブの榎野眞理委員長です。

### 3. **リージョンレベル**

リージョン大会の『**30日前**』までにサインの申請書をリージョン石崎郁子資格認証委員長に送付して下さい。( 郵送 FAX e-mail いずれも可 )

4. 申請無しでサインを受けられるもの

\* 当日の出席

\* 「今日の話題」の参加者、等の予告無しで担当した役割。

5. サインを得たい箇所には、申請者自身がフセンに日付をつけて申請する。

行なう役割については、何箇所もサイン可能な箇所があるものがあり、申請者が必ず明示すること。それにより役割に対する明確な位置付け、意識も深まることとなる。

## 【 過去何年遡ってサインは出来るか 】

### 2007年(6年前)より

『担当した役割』それが終了した確かな証明がある場合に限り、遡ってサインを得ることは出来る。

※ 以前は『過去2年遡ってサインは出来る』ことが従来のリージョン資格認証委員会の見解であった